

「ワールドビジネスサテライト」25周年 “自分につながる経済番組”をめざして

プロデューサー・大信田雅二に聞く

『ワールドビジネスサテライト』の進化

1988年
4月

放送開始 金融情報を中心に世界経済を報道

日米欧の金融情報を中心に世界経済を伝える番組としてスタート。現地の外国人記者のレポートを毎日同時通訳で中継するという斬新な内容だった。

1998年
4月

「トレたま」スタート 消費・流通、身近な経済情報を映像で

すべての視聴者が消費者であるという考えから、消費・流通に関するニュースを増やし、「身近な経済情報を映像でみせる」番組として認知度を高めた。そのひとつの象徴として、人気コーナー「トレンドたまご（通称トレたま）」がスタートした。

2010年～

ソーシャルメディアとの連携開始

Twitter、Facebook、LINEで公式アカウントを取得し、情報発信や番組連動を実施。Facebookでは日本のテレビ番組で一番多く「いいね!」をもらい、19万を超えている（2013年5月現在）。

2013年

番組開始から25周年

特別
企画

「ライジングジャパン」

経済再生の実現に関する政策や企業動向などを継続的に取り上げる。

「アジア特集」

小谷キャスターがアジアを取材。現地のスタジオから生放送する。

特別
番組

7月「ITは日本経済再生を推進できるか(仮)」

その他、特別番組を予定。

◎ 番組づくりについて

『ワールドビジネスサテライト』は「身近な経済情報を映像でみせる」経済ニュース番組の草分け的な存在です。開始当初は金融情報を中心に映像的には動きが少なかったのですが、小谷さんがキャスターになった約15年前から方針転換し、身近なニュースを取り上げて映像を多様するなど、独自のノウハウを蓄積してきました。

◎ 25周年における、新たな取り組み

アベノミクスという経済政策が敷かれる中で、年間を通して「ライジングジャパン」と銘打って、経済再生に関連する政策や企業動向などを日々の番組の中で検証します。

この他、経済成長の著しいアジアに小谷キャスターが取材に赴いたり、ITと日本経済再生についてスピノフ特番を放送するなど、経済の“今”を伝えていきます。

◎ 今後の展開について

視聴者が「自分につながる」と感じられる経済番組をめざして、25周年企画・特番でも、それを十分に意識しています。ソーシャルメディアによる情報発信や番組連動では、視聴者の反応や関心が瞬時にわかるという点が画期的で、番組づくりに活かしていきます。25周年を機に、学生など若い世代も含めてより多くの方に番組をみてもらい、番組を通じて経済を身近なものに感じてほしいと思います。

TV TOKYO

BUSINESS

ON DEMAND

「テレビ東京ビジネスオンデマンド」スタート

通勤時間を利用して『ワールドビジネスサテライト』や『モーニングサテライト』を見たい！『ガイアの夜明け』や『カンプリア宮殿』の過去の放送内容をチェックしたい！そんな方のために、「テレビ東京ビジネスオンデマンド」の有料動画配信サービスがスタートしました。テレビ東京系列で放送中の経済報道番組が、パソコン、スマートフォン、タブレットで、いつでもどこでも月額500円(税込525円)で見放題です。

オンデマンド配信サービス

パソコンやスマートフォン、タブレットで国内ならいつでもどこでも見られます。

経済ニュースを毎日更新

『ワールドビジネスサテライト』『モーニングサテライト』『Mプラス』の経済ニュースやマーケット情報をチェック！

経済番組を毎週更新

『ガイアの夜明け』『カンプリア宮殿』『未来世紀ジパング』で見逃した番組をチェック！

便利な検索機能

企業名やサービス名、商品名などで検索、そのまま視聴いただけます。

TOP画面



右側がニュース番組

「最初から見る」ボタンのほか、サムネイルをクリックするとそのニュースの動画が再生されます。

ニュース番組



その日の出演者や、矢印をクリックするとその日のニュースが放送順に紹介されています。

どの画面にも検索機能がついていて、企業名やサービス・商品名などを入力すると全番組から関連情報を探すことができます。

ドキュメンタリー番組

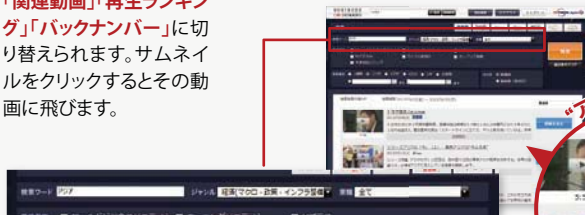
左側がドキュメンタリー番組をクリックすると最新の放送が再生されます。



サムネイルをクリックすると、「この日の放送内容」を途中から視聴できます。

「関連動画」「再生ランキング」「バックナンバー」に切り替えられます。サムネイルをクリックするとその動画に飛びます。

検索機能



月額500円(税込525円)で見放題! 初月無料キャンペーン実施中

<http://txbiz.tv-tokyo.co.jp/>

※利用登録(メールアドレス、クレジットカードなど)が必要となります。